

松山市道後温泉事業経営戦略の概要（令和7年3月中間見直し）

1. 経営の基本理念 及び 基本方針【継続】

【基本理念】

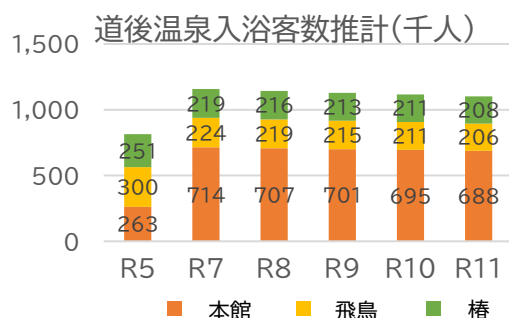
「訪れる人々に癒やしと明日への活力を提供する歴史と文化が薫る道後温泉」を目指します。

【基本方針】

- ①観光産業の振興:松山を代表する観光資源に磨きをかけ情報発信をするとともに、おもてなしの心の醸成に努め、観光客に楽しんでいただける経営を推進します。
- ②文化遺産の継承:重要文化財である道後温泉本館の価値を保全し、後世に受け継いでいくため、保存修理に取り組みます。
- ③生活衛生の向上:入浴施設の適正な衛生管理の徹底や、感染症の予防を行い、安心して利用できる環境を作ります。

2. 経営の状況・入浴客数の将来推計について

道後温泉事業は令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響等により使用料収入などの歳入が減少し、一般会計から赤字を補填しています。また、今後の入浴客数の将来推計を行い、今後の物価や人件費の上昇なども考慮し、令和6年7月の道後温泉本館の全館営業再開にあわせて、道後温泉本館のサービスを向上させるとともに、料金改定を行いました。



3. 令和7年度以降の収支の見通し

入浴客数の将来推計を基にして、特別会計の収支を試算しています。

3館一括の指定管理者制度を導入し、スケールメリットを反映するなど、歳出削減要素も考慮する一方で、今後の物価や人件費の上昇なども考慮した推計としています。

【料金改定(案)を想定した道後温泉事業特別会計の収支見込】		(単位:百万円)					
		R7	R8	R9	R10	R11	
特会歳入	①	1,175	1,274	1,296	1,245	1,211	
うち浴場使用料・負担金		857	848	838	829	820	
うち駐車場・内湯使用料等		172	171	171	170	169	
特会歳出	②	1,006	1,115	1,146	1,147	1,123	
うち起債償還金		69	75	79	80	80	
うち源泉管理		111	45	82	50	78	
特会歳入(基金・繰越金除く)	③	1,067	1,056	1,046	1,036	1,026	
特会歳出(基金・繰越金除く)	④	1,006	946	986	997	1,024	
実質的な収支	③-④	61	110	60	39	2	

4. 今後の誘客戦略及び経営目標【継続】

【今後の誘客戦略】

道後温泉事業施設は、松山市の主要な観光施設であることから、市の観光施策として取り組む事業との連携を密にし、パブリシティを最大限活用するとともに、観光振興担当セクションにおける旅行商品化やPR活動とも連携を継続し、誘客の促進を図ります。

【経営目標】

①観光産業の振興:経営戦略期間内に道後温泉3館の年間入浴者数120万人超えを目指します。

②安定的経営の持続に向けて

＜収益性に関する目標指標＞料金回収率が100%を超えるよう経費節減と、受益者負担の原則に基づく適正な料金設定に努めます。

＜資金確保に関する目標指標＞更新充当可能資金対事業収益比率が100%を超えるようにし、将来の更新に備え、過度に基金を取り崩さず、弾力的な財政運営ができるように努めます。

＜投資に関する目標指標＞有形固定資産減価償却率が60%以内を目標とし、少なくとも70%を超えないよう、老朽化による更新を適切に実施し、計画的な保全による長寿命化の推進を図ります。

③文化遺産の継承:道後温泉事業施設などを活用し、道後温泉の歴史と伝統を継承します。

④生活衛生の向上:レジオネラ菌の発生ゼロを維持し、お客様に安心して利用していただけるよう努めます。